

労山全国連盟 メールニュース

発行：日本勤労者山岳連盟 メディア局

2015年10月6日 第19号

▲△1：全国ハイキング・リーダー学校 神戸市で開催 13 地方連盟、約 70 名が参加

2015年全国ハイキング・リーダー学校が、9月12日～13日の2日間、兵庫県神戸市の神戸市立セミナーハウスで開催されました。参加者は受講生が13地方連盟37名（日帰り4名含む）、全国連盟6名、兵庫県連スタッフ30名弱で、全体では約70名でした。

会場の神戸市立セミナーハウスは、神戸市とはいっても六甲山裏側の内陸部にあります。周囲は山林に囲まれて環境がよく、谷の向こうには大きな百丈岩の威容が目を引きまします。6月には同じ会場で全国遭難対策研究集會も開かれました。

山本先生の記念講演



緑の中の神戸市立セミナーハウス
奥の岩場が百丈岩のゲレンデ



記念講演は、鹿屋体育大学の山本正嘉先生に「登山中の事故を防ぐために必要な体力とトレーニング」と題してお願いしました。山本先生は、最近、ベテランの登山者が事故を起こすケースが増えていることに警鐘をならし、登山者は一般の人よりは確かに体力があるが、登山は思っている以上にハードな運動で、安全登山に必要な体力水準に達していないことを知る必要がある。このため、登山用のトレーニングに意識的に取り組むことが大切だ、と強調しました。たいへんわかりやすく、おもしろい講演でした。

つづいて、石川ハイキング委員長が「ハイキングのリーダーはどうあるべきか」について提起。自分がリーダーになったら、どういうことを心掛けるべきか、を話しました。

このあと、3グループに分かれて分散討論を行いました。討論にあたっては、最近、ハイキングの会で発生した4件の事故報告を参加者に事前配布し、目を通してきてもらいました。それも参考にしながら、各グループでリーダーのあり方について、論議を深めました。

2日目は、主管の兵庫県連の協力をえて、ハイキング中に事故に遭った場合の対応法（セルフレスキュー）の実技講習を行いました。三角巾の使用法、負傷者の搬出の仕方、ヘリコプター救助の要請方法など、4班に分かれて、実地にやり方を学んでもらいました。

この学校の詳細は、「登山時報」12月号に掲載されますので、そちらをご参照ください。

▲△2：自然の象徴ライチョウのこと、知ってみませんか？

労山は10月24日～25日ライチョウ会議・静岡大会を後援

日本の高山帯の自然を象徴する「ライチョウ」、これについて理解を深めるイベント「ライチョウ会議」が10月24日（土）・25日（日）に静岡市の「しずぎんホール ユーフォニア」で開催されます。「ライチョウ会議」は、一般の人にライチョウの魅力や生態を知ってもらうとともに、研究者などが行なっているライチョウに関する調査の情報交換を目的に開かれる催しで、参加費は無料です。これを主催するのは「第16回ライチョウ会議静岡大会実行委員会」と静岡市で、後援するのは環境省、林野庁、富山県、長野県等の役所関係や、関連団体では労山をトップに、日山協、日本自然保護協会などが名を連ねています。

労山は、皆さんからライチョウ目撃情報を提供いただき、労山のホームページに掲載しています。<http://www.jwaf.jp/raicho/index.html> ここに掲載した写真は、その一例です。



東京・世田谷山友会 まり氏提供



大阪・このはな山の会 香川氏提供

(参考) 国の特別天然記念物に指定されているライチョウ。本州中部の標高2,000mを超える高山帯に生息し、南アルプス（静岡県）が世界の生息地の南限と言われている。

1日目（24日）は南アルプスの成り立ちやライチョウの特徴を紹介する一般向けの「公開シンポジウム」を、第2日目（25日）は専門家が最新の研究状況等を発表する「専門家会議」を開催します。専門家会議では、ライチョウ保護に関するさまざまな調査報告が行われる予定で、先日ニュースでも話題となった、北アルプス大天井岳で確認された、ニホンザルによるライチョウの雛の捕食についても報告されることになっています。こちらも

一般聴講可能なので、ライチョウについてより深く知りたい人はぜひ参加してみませんか。

24日の公開シンポジウムで基調講演が予定されているのは

- (1) 南アルプスはどうのようにできたのか (明星大学 長谷川裕彦氏)
- (2) ライチョウってどんな鳥 – 保護の未来は? (東邦大学 小林篤氏)
- (3) 南アルプスのニホンジカ – 生態系保全のためのシカ管理 – (静岡県森林・林業研究センター 大場孝裕氏)
- (4) 気候変動とライチョウの生息環境 (長野県環境保全研究所 堀田昌伸氏)

詳細に関しては、静岡市ウェブサイトを参照ください。

<http://www.city.shizuoka.jp/000701069.pdf>

▲△3：ROUSANパートナーズホームページに

「地元会員特選ミニガイド」登場

<http://www.yama-tomo.jp/> をクリックしてみてください！

機関誌【登山時報】で好評連載中の「地元会員特選ミニガイド」が個人会員制＝ROUSANパートナーズのホームページ「ヤマトモ」に登場しました。トップバッターは霊仙山(1084m)でも、島原半島ではありません。登山口の廃村に「往時のままに花は咲く」滋賀県の山で、田中澄江『花の百名山』にも選ばれています。高槻勤労者山岳会／大阪の三鍋敏郎さんの推薦です。次は古処山(こしょさん 896m)で、古くから親しまれてきた福岡県の名山です。山頂一帯をおおう美しいツゲの原生林が見事です。奥岳山の会／福岡の重藤秀世さんの推薦です。木曾三川(きそさんせん)と濃尾平野を見下ろす絶好の展望台、養老山(859m)、同名の白山(はくさん、284m)でも神奈川のうっそうとした常緑樹の低山などを紹介しております。今後はひと月に2座のペースで更新していきますので、写真はもちろん、紹介文も是非ご覧になってください。

地元の名山、お薦めの山ありましたら登山時報「桑村」まで連絡ください。



志々伎山(しじきさん) 長崎・岡田伊佐男提供



徳舜瞥山 道央・今野平支郎提供

▲△4：新特別基金の年度途中加入 月割額を80円から100円に 来年1月より 細則（4-3）を改定します

労山の新特別基金に年度途中から新規加入する場合に、寄付金の月割額計算が来年1月1日から変更されます。

現在、新規申込みする場合は、登録月から各所属会・クラブの期限月までを月割計算し、1口1ヶ月あたり80円換算（1000円÷12ヶ月＝83.3円より）としていますが、これを100円に変更します。会計年度が変わる2016年1月1日からの実施です。ただし、月割額の上限は1000円ですので、期限月までの期間が10ヶ月でも11ヶ月でも1年分と同じ1000円となります。

例えば、期限月が5月の会・クラブで、11月（月内の日割り計算はしない）に新規加入する場合は、11月～翌年5月の7ヶ月分700円（100円×7ヶ月分）×口数となります。その有効期間は翌年5月末日までなので、6月以降に700円×口数分の寄付金を納めていただくことになります。6月1日からは、1年分を1口1000円で計算して継続します。（ホームページ上の規定、Q&Aは年内に更新します）

なお、期限途中で口数を増し口（追加）する場合は、期限月までの残りの期間の長短にかかわらず1口1000円とし、月割計算は行いません。従来どおりです。

「新規登録申込書」「増し口（追加）申込書」はHPこちらからダウンロードできます。

<http://www.jwaf.jp/fund/kakusyu/index.html> 新規登録申込書（第二種個人）を選択

▲△5：創立から50周年を迎える「新日本スポーツ連盟」 11月7日に国際シンポジウム・記念レセプションを開催

労山が加盟する「新日本スポーツ連盟」は、1965年11月12日に創立されました。本年は創立から50周年、この記念すべき日に向けて、「創立50周年記念事業」にとりくんでいます。その一環として「国際シンポジウム」と「記念レセプション」が、11月7日（土）に東京・北区王子駅前の「北とびあ」で開催されます。

シンポジウムは、テーマに「豊かで平和な生活のために一スポーツ運動が求められているもの」を掲げ、海外からも「韓国体育市民連帯」、「フランス勤労者スポーツ・体操連盟（FSGT）」を招き、会場からの質疑も行なわれます。当日の使用言語は英語ですが、希望者全員に日本語へのイヤフォンサービスがあります。参加費は無料、興味がある方は会場まで足をお運びください。

なお、新日本スポーツ連盟は他に創立50周年記念事業として「50年史の編纂」、「東京-広島-長崎反核平和マラソン」、「記念グッズ（フェイスタオル・ポロシャツ）」、「功労者・団体の顕彰」などを行ないます。

詳しくはこちらのホームページにてご確認ください。

<http://www.njsf.net/info/recent/507.html>

▲△6：関東ブロック「雪崩事故を防ぐための講習会」**2016年1月23日～24日 谷川岳にて開催**

日本勤労者山岳連盟・関東ブロック協議会は来年1月23日(土)～1月24日(日)に、谷川岳天神平及び白毛門登山口・土合山の家周辺で第23回雪崩講習会を実施します。受講費は実技講習23,000円、学割は20,000円です。締切りは年内12月31日となっています。

(詳細は添付の実施要綱を参照)

なお、実技講習参加者は、事前の机上講習の受講が必須条件です。机上講習会は次の日程で行ないます。講習料¥2,000円(テキスト・講習代)

| | 開催日・時間 | 会場 | 時間 | 定員 | 講師 |
|------|------------------|---------|-----|-----|---------|
| Aコース | 12月6日(日) 13:00～ | 全国連盟事務所 | 4時間 | 40名 | 川嶋 / 陶山 |
| Bコース | 12月9日(水) 19:00～ | 全国連盟事務所 | 2時間 | 40名 | 川嶋 / 陶山 |
| | 12月16日(水) 19:00～ | 全国連盟事務所 | 2時間 | 40名 | 川嶋 / 陶山 |

※机上講習会だけの参加も受け付けています。

▲△7：「全国雪崩事故を防ぐための講習会」発足30周年記念行事

2015年12月5日(土) 14時から記念講演、16時から記念祝賀会を全国連盟事務所で予定しています。関係各位には詳細が決まり次第、案内をお送りします。

以上